

“受験する”という意味について

塾長 上谷 恭範

「中学・高校受験」の意義は、子供の人生の進路を決する大事な出来事の一つである。わが子の将来をどう導いていくのか、どういう道標を与えていくのか、次の二つのことを保護者は真剣に考えて理解し、確かなものにしていかなければならない。

まず、重要なこと―それは家庭教育の方針を見直すことである。家業を継がせたい、技術者になりたい、医者・弁護士・研究者にしたい、教職に就かせたい等々、子どもの性格、家庭の諸事情を考え、一つに収斂することである。この話し合いの場、父親の存在が不可欠である。

このことを前提に、次に志望校の選択になる。校風はどうか、学校の理念は、教育方針は、通学している学生の素行は良いか、良き教師がいるか、どんな大学に合格しているか、またどんなところに就職しているか、三年間または六年間通学できるか、等々を熟知すること。それには、足繁く、その学校に通い一般の学校説明会だけでなく、個別に面談に赴き話し合いをする。私塾塾教師と進路相談をしていく。ここで大切なことは、偏差値や校舎の外観、生徒の服装等を優先して学校選択してはならない。

結論として、家庭の教育方針、家庭の諸事情、わが子の性格、将来の方向性と志望校とが合致し、その学校へ入学して本当に良かったと納得できる学校を二・三校選択していただきたいものである。

最後に、志望校が二・三校決定したならば、その学校の最低十か年の過去問を解きなさい。合格点に達しなければ、修明塾の日曜教室で出題の“傾向と対策”を緻密に分析してもらい合格に達しない単元を克服するようにして下さい。中3の都立受験生は、学校の教科書、特に英語・社会・理科の教科書を十回読み、暗記し、日曜教室で過去十か年の過去問を解くこと、特に記述式の方法を学んで下さい。

勝負はこれからです。自信をつけましょう。

### 日曜教室 小6受験科

待ったなし!

金子 義一

世間では広島島の集中豪雨、御嶽山の噴火などで多数の犠牲者が出ている。その犠牲者の方々には、つつしんで哀悼の意を表さなければならぬ。

しかし! 入試本番まで四か月足らず、待ったなしでその日はやってくる。想像してみして下さい。試験開始のチャイムがなり一斉に問題に取り組む。今までに経験のしたことのない緊張が走る。今の学力で合格できるだろうか。不安になってくる。だから、塾の勉強に精を出しているのだ。通常授業では志望校過去問演習をおこない、日曜教室では単元別の総復習を実施し、その緊張感を打ち破るべく剣を磨く。そのような気持ちで学習に励んでください。

中学入学は未知の世界への発進です。



### 日曜教室 中3受験科

受験に“安全圏”は無い

柴田 圭

修明塾の日曜教室が始まりました。中3受験生は、最大週4回(5教科受講)も塾に通う中で、さらに「日曜も勉強か!」といった声があるのは承知しています。

しかし、受験には「絶対に大丈夫!」「偏差値ランクを下げれば楽勝」という安全圏にでもいるような思考をするのは禁物です。なぜなら、子どもの学力面・精神面・体調面などは、日常生活やほんのわずかな外的要因で即座に変化するものだからです。

日曜教室の最大の特徴は、都立・私立入試に共通した出題傾向(分野別)を踏まえた「テスト形式」の問題演習にあります。毎回の「テーマ制」になっているため、苦手な分野ごとに個別学習ができるメリットもあるでしょう。

入試まで具体的に何をすべきか、を知ることができ、参加する皆さんには、普段の授業とは異なる“緊張感”を持って、学習の効果を実感していただきたいと思います。

### 2014年度 日曜教室 スケジュール (全16回)

① 10月5日	② 10月12日	③ 10月19日	④ 10月26日
⑤ 11月2日	⑥ 11月9日	⑦ 11月16日	⑧ 11月23日
⑨ 11月30日	⑩ 12月7日	⑪ 12月14日	⑫ 12月21日
⑬ 1月11日	⑭ 1月12日	⑮ 1月18日	⑯ 1月25日

### 小6受験科 日曜教室 カリキュラム

① 算数「和と差に関する問題」 国語「長文読解・同音異義語・漢字」	⑨ 算数「立体図形に関する問題」 国語「長文読解・熟語組み立て・漢字」
② 理科「植物・生物に関する問題」 社会「地理に関する問題」	⑩ 理科「物の運動に関する問題」 社会「公民/国際に関する問題」
③ 算数「割合に関する問題」 国語「長文読解・同音異字・漢字」	⑪ 算数「規則に関する問題」 国語「長文読解・三字/四字熟語・漢字」
④ 理科「水溶液に関する問題」 社会「工業に関する問題」	⑫ 理科「電気/光/音に関する問題」 社会「時事に関する問題」
⑤ 算数「速さに関する問題」 国語「長文読解・同訓異字・漢字」	⑬ 2科/4科総合問題(1)
⑥ 理科「水溶液に関する問題」 社会「歴史に関する問題」	⑭ 2科/4科総合問題(2)
⑦ 算数「平面図形に関する問題」 国語「長文読解・対義語/類義語・漢字」	⑮ 2科/4科総合問題(3)
⑧ 理科「天体・気象に関する問題」 社会「歴史に関する問題」	⑯ 2科/4科総合問題(4)

### 中3受験科 日曜教室 カリキュラム

① 数学「式と計算・方程式」 英語「文法・対話文・長文」	⑨ 数学「三平方の定理」 英語「文法・対話文・長文」
② 国語「読解問題」 社会「地理分野(1)」 理科「化学・物理(1)」	⑩ 国語「読解問題」 社会「歴史分野(2)」 理科「化学・物理(3)」
③ 数学「比例・反比例・1次関数」 英語「文法・対話文・長文」	⑪ 数学「円」 英語「文法・対話文・長文」
④ 国語「読解問題」 社会「歴史分野(1)」 理科「地学・生物(1)」	⑫ 国語「読解問題」 社会「公民(経済編)」 理科「地学・生物(3)」
⑤ 数学「2次関数」 英語「文法・対話文・長文」	⑬ 数学・英語「総合問題(1)」
⑥ 国語「読解問題」 社会「公民(政治編)」 理科「化学・物理(2)」	⑭ 国語・理科・社会「総合問題(1)」
⑦ 数学「相似と計量」 英語「文法・対話文・長文」	⑮ 数学・英語「総合問題(2)」
⑧ 国語「読解問題」 社会「地理分野(2)」 理科「地学・生物(2)」	⑯ 国語・理科・社会「総合問題(2)」

入試・模擬試験で、点数を伸ばす  
“勉強方法”が身に付きます!

修明学園は、平成21年9月に「地域の活性化を目指し、安心安全な町づくり」をスローガンに、『親と子と教師による学びのサロン』という企画を立ち上げました。知の発信地となり、地域の皆さんと一緒に「本物・良いもの・良い人」に触れる機会を作り、教育を通じた地域社会への貢献をしていく目的があります。これまで、毎日新聞社の記者、修明学園の出身の医師などを招いて講演をしていただきました。

その第7弾として、平成22年3月21日に、台東区の浅草橋区民館で開催した『慶應義塾大学の先生に触れる、大学とは何か、学ぶとは何か』の講演録を連載形式でご紹介することになりました。

〈紹介〉

慶應義塾大学 法学部 教授 田上 雅徳 先生  
専門分野は西欧政治思想史で、16世紀の宗教改革者ジャン・カールヴァンの政治思想が主たる研究対象。現代日本とアメリカにおけるキリスト教と政治との関係を扱う論考も発表。

連載 大学—せんせいたちのいるところ【1】

慶應義塾大学 法学部 教授 田上 雅徳

僕は港区にある慶應義塾大学で教師をしております。ご存知の方も多いかもしれませんが、後でこの点にも触れますが、大学というところは勉強する内容によつて、いくつかのコースに分かれています。このコースのことを大学では「学部」と呼んでいます。大きく分けると、慶應義塾大学の場合は、「将来お医者さんになりたいんだ」という人たちのために医学部というコースが用意されています。「コンピュータの開発にたずさわってみたいな」という人たちに必要なトレーニングを行うコースは理工学部にあります。「人々が豊かに暮らすためには、お金をどう動かせばいいんだろう」と考える人たちのためには経済学部というコースが設けられています。

そして僕ですが、僕は法学部というコースで教師をしています。「法」、つまり社会のルールですね。この法という社会のルールを学んだ人たちは、たとえば弁護士や裁判官といった法律家になる場合もあるし、政治家になる場合もあります。もちろん、ふつうの会社に入つて、大学時代に学んだ社会のルールを意識しながら、ビジネスマンとしてバリバリ働く方もたくさんいます。

いずれにせよ、そういう社会のルールというものを詳しく考えてみましょう、というコースで先生をしているわけですが、詳しく言いますと、僕は法学部の中でも「政治学科」という、もう少し細かいコースで教えています。「政治学科」って何だ？「政治って何？」ということですが、ここで話したくないなら、私も言いませんが、今日はあまりそのことに触れることはいたしません。皆さん、眠たくなるでしょうから。ただ、ここでは極々簡単に、法学部というコースの中にもうひとつ政治学科という枝分かれコースがあることと説明しておきます。政治学科というのは、法という社会のルールをどうやって人々に認めさせているのか、認めさせてきたのか、そして認めさせていったらいいのか、これらのことを勉強しましょう、というコースです。

僕は特に、いまから50年前のヨーロッパで、人々が社会のルールをどうやって認めさせてきたのか、この点に興味をもって学んでおり、そして学んだことを大学生たちに教えています。これも後で触れますが、社会のルールを人々が「なるほど、これは大事なルールだ」と認める、その認め方っていうのは、昔と今とはだいぶ異なりますし、変わってきています。チェンジしてきます。それを僕は面白いなあと感じて勉強していますし、「ねっ、ルールの認め方のチェンジって面白いでしょ」ということを大学生たちにわかってもらおう、そういう仕事をしてるんです。

そんな僕が、修明学園から「大学で学ぶ、つてことを話して欲しい」と依頼されたのは、もう半年前になるでしょうか。喜んでお引き受けしました。

大学は「最高学府」だと言われます。お配りした紙にも書いておきましたけど、「学府」という聞き慣れない言葉はともかく、「最高」というのはイメージをつかみやすいかもしれません。そうなんです、日本の学校は小学校から始まって、中学校・高校とだんだん難しいことを学ぶようになりますが、大学はその高校を出た人たちが改めて入り直す学校なんです。最高に難しいことを勉強する学校、それが大学です。実際、多くに入ちは大学を終えると、それ以上難しいことを学校で学ぶことはしません。その意味で、最高の学校として、すなわち「最高学府」として大学が存在しています。

【次号に続く】

☆読書の秋 ☆先生方からのオススメ図書



先生の皆さん、読書をついでませんか？



上谷 修一郎

最近の学生の読書量は以前と比べて著しく減少しているという話をよく耳にする。製本された書物による活字文化をどれくらい尊重するのかという議論の余地はあるだろうが、控えるにいつてもそれは間違いないと思う。みなさんの多くは圧倒的に読書量が足りていないのだから、どうやって精読するかのとかどのジャンルの本を読むのとか難しいことを考えずにとにかくたくさん本を読んで読書を習慣付けてほしい。

お勧めの本を一冊あげるのであればゲーテの『ヴィヘルム・マイスターの修行時代』にする。ドイツ教養小説の範と呼ばれることの多いこの本では、主人公がさまざまな体験を経ながら内面的に成長していく有様が描かれている。少し難しいかもしれないが陶冶という言葉の意味を考えながら読んでもらいたい。

2014修明塾スケジュール

10月の予定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11月の予定

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

9月中旬～10月上旬 中学生対象「2学期中間試験対策勉強会」  
10月5日(日曜)～1月下旬 小6・中3受験生対象「日曜教室」  
10月25日(土曜) 平成26年度第2回数学検定(準会場認定)  
11月1日(土曜) 平成26年度第2回漢字検定(準会場認定)  
11月上旬～下旬 中学生対象「2学期 期末試験対策勉強会」

小林 龍介

なぜ大人は本を読めというのか……。最近少し分かるようになってきました。

本にはたくさんのお話があります。そしてそこで出会った人の気持ちやわかるようになります。思いやりのある子に育つて欲しい、そんな気持ちから本を読めというのだと思います。

読みやすい作品を一つ紹介します。

『県庁おもてなし課』(有川 浩) これは関ジャニ∞の錦戸亮さんが主演で映画化もされています。登場人物が魅力的で、読んで後にはとても爽やかな気持ちにさせてくれます。

最後に、読書のコツをひとつ。

「読むのがつらくなったらやめる」

読んで苦痛な本は途中でやめてしまうことです。しかしまたチャレンジしてみる。読みたいものだけ読むのでもいいが、これなら続けられますよね！